

## 「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた取組状況について

### 1 要旨・目的

全国トップレベルの高度医療を提供する機能や、医療人材を育成・派遣する機能を持つ「高度医療・人材育成拠点」（新病院）の整備に向け、令和5年9月に策定した「高度医療・人材育成拠点基本計画」に基づく新病院の医療機能や施設整備等に関する取組状況等について報告する。

### 2 現状・背景

- (1) 高齢化に伴って、医療ニーズが高まる一方で、労働力人口が減少し、医療を支える人的資源が縮小するとともに、多数の症例や研修体制が充実している大都市圏の病院に若手医師や研修医の集中が加速することで、県内の医師不足が顕在化することが見込まれる。
- (2) 中山間地域においては、地方の基幹病院の医師不足により、サービス供給停止・縮小を余儀なくされ、都市部に比べてより速く、医療基盤の維持が困難になることが予想される。

【新病院開院までの流れ】 ※ スケジュールは、現時点の想定

拠点ビジョン → 基本構想 → **基本計画** → 基本設計 → 実施設計 → 建設工事 → 開院  
 2022年3月      2022年11月      2023年9月      2024～2026年      2026～2030年      2030年

### 3 概要

#### (1) 対象者

県民、医療関係者等

#### (2) 実施内容（取組状況）

基本計画及び県立広島病院跡地活用の方向性の実現に向けて施設整備等を着実に進める。

#### ア 施設整備

- ・10月27日に新病院建設予定地の不動産売買契約を JR 西日本と締結

区分	内容
所在地・面積	広島市東区二葉の里三丁目1番1 26,137.75 m <sup>2</sup>
相手方	西日本旅客鉄道株式会社（大阪市北区）
金額	181億7,000万円
内容	○令和7年4月に購入実行予定 ○広島鉄道病院の地下構造躯体の撤去工事及び土壌汚染対策法による形質変更時要届出区域の指定解除のための汚染土壌の除去工事は、JR西日本の負担・責任において施工（施工予定期間：令和5年10月～令和7年3月）

- ・11月1日に土木建築局営繕課に新病院整備グループを設置
- ・新病院開設準備委員会（仮称）を設置し、部門別面積や運営方針等を検討
- ・今年度内にプロポーザルにより設計事業者を選定予定

## イ 地域医療体制確保

地域の医療ニーズに対応した医師配置を調整する体制について、医師配置検討委員会（仮称）を設置し、県内全域への医師配置調整体制の早期実現を目指す方向で関係者との調整を進める。

## ウ 新病院の運営形態

本年度中（令和6年2月定例会）を目途に定款案や評価委員会条例案を上程するなど、令和7年4月からの地方独立行政法人の円滑な設置に向けた組織運営体制の準備を進める。

## エ 財務計画

資材単価や金利の上昇をモニタリングしながら、収支計画の実現のための戦略の更なる具体化・精緻化を行う。

## オ 県立広島病院跡地の活用

県立広島病院の移転後も地域で安心して暮らし続けることができるよう、日常的な幅広い疾患・外傷への対応や慢性疾患の継続的な医学管理などをはじめとした、必要な「医療」「介護」「福祉」サービスを受けることができる体制の実現に向けて具体的な検討を進める。

## カ 新病院構想に係る県民への広報活動等

高度医療・人材育成拠点構想について、県民の理解促進及び気運醸成を図るため、医療再編や新病院に関連する講演や事例を紹介するセミナーを開催した。

### 【令和5年10月29日に開催した新病院セミナーの内容】

#### （ア）基調講演

「わが国の小児保健・医療の課題」国立成育医療研究センター 五十嵐隆理事長

#### （イ）事例紹介

「舟入市民病院の小児医療機能について」広島市立舟入市民病院 岡野里香副院長

#### （ウ）パネルディスカッション

「新病院に期待すること」等

#### （エ）その他

広島県から高度医療・人材育成拠点基本計画の概要について説明

【基本計画に関する主な質問と回答】

主な質問	回 答
どうやって中山間地域に医師を派遣するのか。	<p>○医学生に対するアンケート結果に基づき、中山間地域に勤務しながら専門医の資格を取れる仕組みや、ライフステージに応じた勤務地・勤務形態、短期間のローテーション勤務など、<u>中山間地域で勤務するために求められるニーズに応じた環境を整える。</u></p> <p>○初期臨床研修において、地域医療を体験するプログラムや、<u>幅広い領域の疾患に対応する総合診療専門医の育成・派遣に取り組む。</u></p>
県立広島病院移転後の医療体制はどうなるのか。	<p>○地域懇話会及び住民アンケートの結果を踏まえて、跡地活用の方向性を整理しており、<u>地域の方が引き続き安心して暮らし続けることができるよう、地域の医療機関との連携や高齢者等のアクセスを考慮した上で、必要な医療サービスを受けることができる体制を整える。</u></p>
新病院周辺は渋滞するのではないか。	<p>○敷地内に専用道路を設けて、敷地内に車両の引き込みを行い、敷地外の道路に車両が滞留しないように配慮する。</p> <p>○令和5年4月に行った交通量調査に基づき、新病院及び高速5号線整備後における主な周辺交差点の交通量を推計したが、<u>交通量がピークとなる午前8時台においても新幹線口西の交差点を除いて、渋滞は発生しないと見込んでいる。</u></p> <p>○新幹線口西の交差点の渋滞については、<u>信号の時間調整を行うことにより解消が可能と見込んでいる。</u></p>

(3) 予算額（一部国庫）

令和5年度当初予算額 203,367千円

補正予算額 42,723千円（債務負担行為額 21,811,158千円）

前年度繰越予算額 65,253千円

(4) その他（広島県HP掲載）

ア 高度医療・人材育成拠点の整備について

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/276/koudoiryou-jinzaiikuseikyoten.html>

（※高度医療・人材育成拠点基本計画や基本構想、各種会議資料などを掲載）



イ 最新医療に関する県民公開セミナーについて

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/276/koudoiryou-jinzaiikuseikyoten-seminar-.html>

（※県民公開セミナーにおける最新医療に関する講演や県の基本構想に関する説明動画、県民からの質疑応答などを掲載）



ウ 医療機関再編の影響が予想される地域の医療体制について

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/276/saiheniryoutaisei.html>

（※地域懇話会における医療機関再編による影響の説明資料や議事概要などを掲載）

